



ミニ文化祭

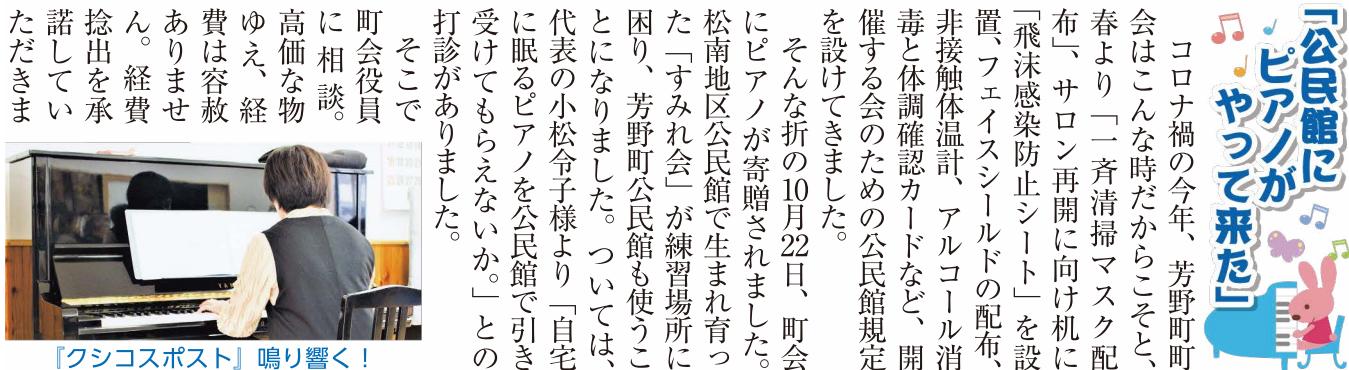


運動会



地域のみなさんの協力でこんなこともできました♪





そんな折の10月22日、町会にピアノが寄贈されました。松南地区公民館で生まれ育った「すみれ会」が練習場所に困り、芳野町公民館も使うことになりました。ついては、代表の小松令子様より「自宅に相談。そこで町会役員に相談。そこでは経費は容赦ありません。経費捻出を承諾してい

た。春より「一斉清掃マスク配布」、サロン再開に向け机に置き、フェイスシールドの配布、非接触体温計、アルコール消毒液と体調確認カードなど、開催する会のための公民館規定を設けてきました。

コロナ禍で行事も少ない今だからこそその幸運でした。とはいっても、小松さんご主人様の「壊れたものを渡すことはできない。」との一声で、メンテナンス費用を全額ご負担いただいたのです。

久しぶりの合唱会。
晴れやかに…。



（百瀬 壽）



地区には以前「史跡ゾーン整備研究委員会」が、弘法山古墳の後背地となる集落跡が松南地区で確認されたことを冊子で報せん。

「すみれ会」の皆様が唱歌などを合唱して下さいました。心温まる時間を過ごし、何よりも、「久しぶりに発表の場を楽めた。」と言つてもらいました。

しかし、人は集まつても「ご近所とも疎遠、コミュニティが育たない」のも実情。「地域を知らない、関心もない」という住民も少なくないかも知れません。

時代はいつそう利便性を追求し、今では松本を代表する「居住誘導地域」(立地適正化計画)で認定されています。

（地域学習、始めます！）



- 告。数少ない地区の歴史遺産として共有されました。その活動を継承し、今度は「松南地区誕生と成長」を究明整理し、住民で共有したいと考えました。
- 明治・大正どころか、昭和も遠くなろうとしています。
- 「戦後75年」を記憶するために行つた「戦前戦後の松南地区」も、資料・証言の限界が浮き彫りとなりました。地区の誕生期である昭和20～40年代の記録・ストーリーを収集するのも、いわばララクルになります。
- 次に関係する資料や写真、証言される方がいましたら、松南地区公民館にお知らせ下さい。
- （連絡先）
- 0263-26-1083
- ①軍需工場（石川島芝浦タービン、日本ステンレス、宮田製作所）など戦前資料。
 - ②戦後復興期の資料（自衛隊の駐屯、市営競輪場ほか）
 - ③昭和30～40年代の工業化の資料（①跡地などへの工場の進出など）
 - ④国道バイパスなど交通・流通インフラの資料
 - ⑤小中学校など教育関係資料ほか
- 数年覚悟の作業ですが、地区へのアイデンティティを確認する事業となるでしょう。
- （白澤 幸男）